

# 明窓



きららとしょかん明徳館  
図書館だより  
第 88 号  
発行 令和5年2月28日  
秋田市立中央図書館明徳館  
秋田市千秋明徳町4番4号  
電話 018-832-9220

## 図書館アプリ新登場！

令和4年12月、5年ぶりに図書館システムの更新を行いました。それに伴い、インターネット上の蔵書検索予約サービスページのレイアウトが変わりました。



「表示切替」などの機能を追加しました！  
お試しください。

また、秋田市立図書館スマートフォンアプリを導入しました。図書館利用カードのバーコードを読み込み、アプリに登録すると、利用者コードが表示されます。このアプリを利用するこ

とで、図書館利用カードをスマートフォンの中に持ち歩けるイメージです。家族分をまとめて登録することもできます。



なお、バーコードの付いていない利用カードをお持ちの方は、カウンターでバーコードを印字、または新しい利用カードに変更することができます。

その他、ワンクリックで資料検索画面やマイページにつながる機能、読みたい本を登録できるブックリスト機能などが利用できます。

QRコードからアプリをダウンロードして、ご利用ください。

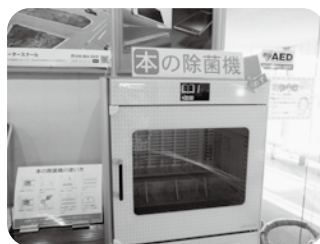


## 「読書の記録帳印刷機」、 「本の除菌機」増設！

明徳館文庫（フォンテ文庫）でも、「読書の記録帳」を交付・記録できるようにになりました。読書の記録帳とは、預貯金の通帳のように、借りた本のタイトル、著者名などを専用機で印字して、読書の記録を残せるもので、小学生以下の子どもが交付対象です。図書館に通い、本を選び、読んだ本の思い出を、成長の記録として振り返ることができる。



また、河辺分館と明徳館文庫（フォンテ文庫）に1台ずつ、本の除菌機を設置しました。本の除菌機は、除菌ライトを照射することで、一度に最大6冊の本を30秒で除菌できます。図書館で本を借りた時など、どうぞご利用ください。



## 無料の公衆無線LAN 拡充更新しました！

明徳館文庫（フォンテ文庫）でも、ご自身のパソコンやスマートフォンで無料の公衆無線LANを使用できるようにになりました。メールアドレスや各種SNSで認証すると、1時間使用でき、再接続も簡単です。

また、明徳館の公衆無線LANに接続し、「dマガジン」のアプリをダウンロードすると、人気の雑誌1,000誌以上の最新号などを無料で読むことができます。認証方法や使用方法については、館内に掲示してあるポスターをご確認ください。

## 官報情報検索 サービスのご案内

国の広報誌として、法令の公布、国会事項、官庁報告、公告等を掲載している「官報」。その内容を明徳館のインターネット端末を利用して見ることができます。昭和22年5月3日から直近までの日付検索と記事検索、有料でコピーもできます。官報掲載情報を調べたい方は、2階の参考資料調査室へどうぞ。

# 少し先の図書館に想いを巡らせて

秋田市立中央図書館明徳館 館長 堀井 満

今年 は明徳館開館40周年の年です。干支は卯。ウサギのように跳ねて、少し先の図書館はこんな感じと、バーチャル・リアリティ（仮想現実）風に想いを巡らせてみました。VRに入っていきます。

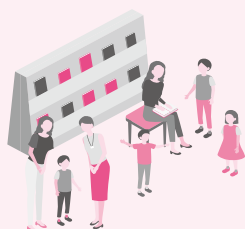
\* \* \*

明徳館の正面から入館するとオーブンスペースに一般図書が並んでいます。耳を澄ますと微かに心地よいBGMが流れています。電子書籍が導入されて、いつでもどこでも貸出しが可能ですが、多くの方が書棚で自分の好みの本や新たな本との出会いを楽しんでいる



ようです。本を借りる人は、本を持って無人の受付ゲートに向かい、読み取り装置にスマートフォンと本を翳すだけで、手続きが完了します。すべての書籍にICチップが貼り付けられているからです。隣のカウンターでは、自分の研究にどんな本が参考になるのか司書に聞きながら会話を楽しんでいる方もいます。

児童書のエリアに向かいます。今日はプロサッカー選手とふれあうイベントが行われています。プロ選手からサッカー本の解説や実技指導を受けるなんて夢のようです。隣ではボランティアの方が絵本の読み聞かせをしています。ネームプレートに「保育士」と書かれている方もいるので、小さい子どもを連れた親御さんは、子どもを預けて、自分の好きな本を探すこともできます。読み聞かせの後は、保育士さんに育児に関する悩みを相談しているようです。



2階は、地域の課題について話し合い、解決のためのアイデアを発信していくエリアです。このテーブルでは図書館資料を片手に、市の職員とNPOの方、黄色のワッペンを付けた司書が話し合っています。黄色のワッペンは福祉が得意な司書です。ヤングケアラーの課題解決について資料を紹介しているよう

です。研修・企画ホール入口のスケジュールボードには、市民講座や企画事業の日程がぎっしり書き込まれています。市民講座の次第を見ると、講師の講義時間と質疑応答の時間が同じくらいで、まるで大学のゼミのような雰囲気のものもあります。ボランティア団体が企画した講座では、ボランティアの方のこれまでの経験を生かした発表形式のものもあります。企画展示では周辺施設、地方公共団体や民間の会社などコラボしたバラエティに富んだテーマ設定が多いことが目を引きます。



3階には学習室、参考資料調査室があります。秋田の歴史に新たな発見があり、発表する論文や寄稿文を作成しているのでしょうか、膨大な資料にとらめっこしている人が多くいます。ここはとても静かですから、ひたすら読書に打ち込み、自分を見つめるエリアでもありますね。そして受験生でしょうか、参考書と問題集にマーカーと付箋が沢山ついています。隣のテーブルには、ノートパソコンやタブレット端末でリモ

ート授業を受けている方もいます。Wi-Fi環境はとても充実しています。



奥に行ってみます。とてもいい匂いがしてきました。テラスもある喫茶店でコーヒーを飲みながら、ゆったりとした時間を過ごせそうです。トーストもあるようですが、勿論有料です。入口のポスターには、レコード鑑賞会の案内があります。休館日には昭和時代のレコードをかけて楽しむために、大きなスピーカーが片隅に置いてあります。そろそろ、VRから抜け出します。



図書館は時代と共に変化し、これまで以上に、知の広場として、賑わいの創出場所として、世代を超えた交流場所として利用されるようになっていくと思います。少し先にこんな図書館があったらいいなと想い描いてみるのも楽しいことではないでしょうか。

\* \* \*



# 明德館の事業

## 企画資料展 「本の動物園」

第76回読書週間に合わせ、令和4年10月1日～11月13日に企画資料展を開催しました。

「本の動物園」と題し、動物に関する創作、ノンフィクション、エッセイ、図鑑、写真集などを展示しました。また、今年開園50周年を迎える大森山動物園の協力により、機関誌『コミュニケーション』の表紙を飾った動物たちの写真を展示し、動物園の沿革を紹介するコーナーを設けました。

大森山動物園で人気を集めた動物たちのかわいいうつと、それに合わせて司書が選んだ本の紹介に、多くの方が足を止めていました。



## 親子学習会 「図書館の裏側探検」

令和4年10月16日、秋田市PTA連合会主催の親子学習会「図書館の裏側探検」が開催されました。12組の定員に対し、なんと10倍超えの137組の応募があつたそうです。

本や図書館が好きという参加者の皆さんは、普段は入ることのできないバックヤード、貴重な図書や古文書、出動準備中の移動図書館イソップ号など、図書館の裏側を興味深く探検していました。

探検後は展示コーナーづくりを体験してもらいました。食欲の秋にちなみ「いただきます」をテーマにおすすめの本を選んで、手書きのPOPも作成。ひととき目を引く展示コーナーができました。



## 市民文化講座 「スリランカ あのTEE」のTEE」

令和4年8月6日に、JICA海外協力隊経験者の鎌田寿晃氏を講師に迎え、市民文化講座「スリランカあのTEE」のTEEを開催しました。講座の様子を「秋田市立中央図書館YouTubeチャンネル」でライブ配信しました。

最初に講師によるデモンストラクションが行われ、本場の紅茶の淹れ方に参加者の目は釘付けになりました。

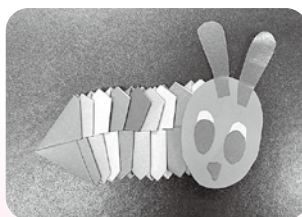
講座は講師が用意した複数のテーマの中から、参加者の挙手で選ばれたものを取り上げる形で行われ、特に関心が高かった紅茶をはじめ、食べ物や学校教育について、スリランカの魅力をたっぷり語っていただきました。どのテーマでも活発な質疑応答が続ぎ、大変な盛り上がりを見せました。



## 河辺分館の事業

### 図書館クイズラリー＆ 「はらぺこあおむし」を さがそう！

小学生の夏休み期間に合わせ、河辺分館が開催しているこのイベントは、主に小学生とその保護者を対象としています。



子どもたちは館内の様々なコーナーや書架を巡りながら、一人で、兄弟姉妹で、あるいは大人の知恵を借りながら、全5問のクイズを解いていきます。簡単な問題にも手強い問題にも必ずヒントを添えてありますが、それでも苦戦している子どもたち。なかなか自力で全問正解とはいきません。しかし最後には、みな無事に全問正解者となり、おりがみ製の「はらぺこあおむし」のプレゼントを笑顔で受け取ってくれました。

令和4年度は8月3日から21日までの17日間に延べ80人が参加しました。

# 令和4年度事業

令和4年度の中央図書館明徳館、フォンテ文庫（☆）で実施した主な事業を紹介します。

## 資料展示

### 「あなたのために秋田市立図書館の雑誌を集めました。」

● 4/5～5/29

土崎図書館、新屋図書館、雄和図書館、河辺分館所蔵の雑誌を集めて展示・貸出し。

## こどもの読書週間資料展示

### 「本ではぐくむ こどものころ」

● 4/19～5/15

乳幼児の発達段階に合わせて、絵本を中心に展示。また、読書のバリアフリーのための点字の本や大活字本などを展示・貸出し。

## 「訪問おはなし会 - 読書週間 -」

● 4/26～5/12

● 10/27～11/4

期間中の平日に、子どもたちのいる施設でボランティアが読み聞かせやエプロンシアターを実施。

## 資料展示

### 「JICA 海外協力隊が出会ったスリランカ 外交関係樹立70周年記念展」

● 6/7～6/26

元海外協力隊員である鎌田寿晃氏が撮影した写真を展示。関連資料の展示・貸出し。共催：JICA 東北



## 「第1回芥川賞正賞 懐中時計特別展示」

● 6/28～7/10

● 1/24～2/5

石川達三氏が受賞した、第1回芥川賞の正賞である懐中時計を展示。

## 市民文化講座

### 「矢田津世子『神楽坂』とその時代」

● 6/26

芥川賞候補となった「神楽坂」について学ぶ。講師：山崎義光氏（秋田大学准教授）共催：放送大学秋田学習センター

## 図書館で見つけよう！ 夏休みチャレンジコーナー

### 「子どもカウンター」

● 7/20～7/28

子ども専用の読書相談窓口を設け、司書が調べものの進め方やおすすめの本などをアドバイス。



## 資料展示

### 「みんなの調べ学習応援します！」

● 7/20～8/28

夏休みの課題や自由研究の題材となるような図書の展示・貸出し。



## 「小学生の選書体験」

● 7/3、7/10、7/17

5、6年生の図書委員を中心に、学校図書室にあったら役に立ちそうな本を選ぶ。

## ☆「アニバーサリースペシャル 『フォンテ文庫 ありがとう11周年』

● 7/30

親子で一緒に「オリジナルノート」を作る。講師：椿田清子氏（パンダのえほん修理屋さん代表）



## 資料展示

### 「新刊ガイドプレイバック」

● 8/2～9/29

2012年から2022年7月号までの「新刊ガイド」で紹介した図書の展示・貸出し。



## 夏休み子ども講座

### 「切り紙でデザインする ステンシルマイバッグづくり講座」

● 8/9

布バッグに自分で切り抜いた紙を配置し、染色してオリジナルのマイバッグを作る。関連資料の展示・貸出し。共催：秋田市環境部



## 移動図書館イソップ号特別巡回 「あそびのはじまり2022」

● 9/18

会場：秋田市文化創造館 子どもたちが様々な体験をするイベントにイソップ号が出動。ボランティアによるおはなし会を実施。

## 「明徳館子ども広場」

● 9/25

ボランティアによる、人形劇「さんまのおふだ」、大型絵本「どうぞのいす」、パネルシアター「おばけのいつつごちゃん」などの上演。



## 市民文化講座

### 「スリランカ あのTEEこのTEE」

● 8/6（詳しくはp3をご覧ください）

## 読書週間2022企画資料展 「本の動物園」

● 10/1～11/13

（詳しくはp3をご覧ください）

## 小学生向けボランティア体験講座 「図書館で本の整理をやってみよう！」

● 11/6

秋の読書週間にちなみ、書架整理の基本である本の分類や並べ方を学ぶ。また、ボランティア実践者へのインタビューも実施。共催：市民交流サロン

## 親子英語講座

### 「親子でLet's Enjoy English! 英語でクリスマスカードをつくろう」

● 12/10

図書館所蔵の洋書絵本等を活用した、親子向け英語講座。講師：山田佐和子氏（大人のあそまなびばen）



## ☆「フォンテ文庫

### ウィンタースペシャル 冬のおたのしみ会」

● 12/17

輪投げやパタパタダンゴ、コロコロ迷路であそぼう！



## 「図書館のお仕事たいけん」

● 12/18

小学4年生から6年生までを対象に、児童コーナーの書架整理、カウンター業務、おすすめ本の展示コーナー作りを体験。



## 市民文化講座

### 「はじめての万葉集 時代を生きた歌人」

● 2/18、2/19

万葉集の代表的な歌人とその歌を取り上げ、最古の歌集の魅力を味わう講座。講師：富樫とも氏

## 「雑誌リサイクル」

● 3/11（予定）

保存期間が過ぎた図書館の雑誌を、市民の皆さんに無料で提供。